

## 二種類の『プラウダ』

われわれは『プラウダ派』の活動をさらに発展させて、労働者の事業のすべての側面と歩調をそろえて、純粹の新聞事業を前進させるであろう。

『プーチ・プラウドィ』を、いまの三倍、四倍、五倍も多く普及させなければならない。すべての労働組合や職業グループの代表を編集に参加させて、一般労働組合版の付録をつくるべきである。われわれの新聞につける地方（モスクワ、ウラル、カフカーズ、沿バルト地方、ウクライナ）版の付録をつくるべきである。例外なしに現れる民族のすべてのブルジョアの民族主義者や小ブルジョアの民族主義者とは反対に、ロシアのあらゆる民族の労働者の統一を強化し、このために、とりわけ、ロシアのさまざまな民族の労働者の運動を取り扱った、本紙の付録をはじめなければならない。

『プーチ・プラウドィ』の外国欄をも、自覚した労働者の**組織的・思想的・政治的**生活の雑報欄をも、さらに何倍にも拡張すべきである。

一コペイカの『ヴェチェルニャヤ・プラウダ』〔『タ刊プラウダ』〕を創刊すべきである。いまの形の『プーチ・プラウドィ』は自覚した労働者にとって必要であり、もっと拡大されなければならない。しかし、それは街頭の労働者にとっては、普通の労働者にとっては、まだ運動にひきいれられていない数百万の分子にとっては、値段が高すぎ、むずかしすぎ、りっぱすぎる。……これらの労働者のことを、先進的労働者はけっしておすれぬであろう。先進的な労働者は、同職組合的な閉鎖性、労働貴族の分離、彼らの大衆からの孤立が、プロレタリアを愚鈍にし、家畜化し、プロレタリアをみじめな俗物に、あわれむべき奴隷に変えることを意味し、プロレタリアの解放にたいするいっさいの望みを失うことを意味するということを、知っている。

二〇万部、三〇万部とプロレタリア大衆や半プロレタリア大衆のなかに深くはいつていき、これらの大衆に世界の労働運動の光明をしめし、彼らに自分の力にたいする自信をおこさせ、彼らを促して結束させ、彼らが完全な自覚の水準にたかまっていけるのをたすけるような、一コペイカの『ヴェチェルニャヤ・プラウダ』を創刊すべきである。

個々の工場別、地区別、等々の『プーチ・プラウドィ』の読者の組織を、現在よりもはるかに大きくし、通信員活動、新聞の運営、新聞の普及にもっと積極的に参加させるべきである。労働者を編集活動に系統的に参加させるべきである。注)……は本文中の表記

第 36 卷『われわれの任務』P311～313

『ラボーチー』第一号、1914 年 4 月 22 日

## ポイント

機関紙を、いまの三倍、四倍、五倍も多く普及させなければならない。そのために、すべての労働組合や職業グループの代表を編集に参加させて、機関紙に労働組合運動を正しく位置づけ運動を発展させなければならない。また、各地方、各民族の労働運動も十分に反映させ、階級的視点に立った国際欄と全国の自覚した労働者の生き生きした生の声の欄を一層拡張しなければならない。また、特別な機関紙を発行して、資本にだまされやすく、みじめな俗物になりやすい普通の労働者に世界の労働運動の光明をしめし、彼らに自分の力にたいする自信をおこさせ、彼らを促して結束させ、彼らが完全な自覚の水準にたかまっていけるのをたすけなければならない。